

民衆の声  
ボイス

No.112

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市会議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL671-3023 FAX681-2060

## 山中市長へ要望書を提出

# 子どもの医療費 無償化18歳までの拡大 来年度実施へ！

8月26日、さらなる子育て負担の軽減を求めて、8月3日に市長選挙で2期目の当選を果たした山中竹春市長に要望。小児医療費助成の拡充について、所得制限なしで速やかに18歳まで対象を引き上げるよう申し入れました。

市長は「18歳までの拡大に向けて取組を進めていきたい」と応じました。平成4年、公明党市議団として、横浜市会で初めて乳幼児の医療費無償化を提案。以来、歴代市長との議論を重ね、中学3年までの無償化を実現してきました。

私たちは、来年度からの対象年齢拡大の実現に向けて、取り組んでまいります。



山中市長に、早期の実施を要望

## 帯状疱疹ワクチン定期接種がスタート！

公明党が、長年にわたり国と地方の議会で連携し、政策提言をしてきた帯状疱疹ワクチンの定期接種がカタチになりました！横浜市は、7月1日から65歳以上の方などを対象に開始。対象者には予診票が郵送され、接種期間は令和8年3月31日までです。



山中市長に要望したときの様子(令和4年10月14日)

### ■定期接種化を求める公明党横浜市会議員団と横浜市の動き

令和4年 5月20日 一般質問において公費助成の導入を要望  
10月14日 令和5年度予算要望と合せ、定期接種化を要望  
12月19日 市長が厚労省へ定期接種化と財源措置を要望

### 令和5、4年度横浜市内での罹患状況等を調査

令和5年 7月11日 市長が厚労省に重ねて要望  
令和6年 6月20日 厚労省専門家会議でワクチンを定期接種に含める方針を了承  
令和7年 7月1日 横浜市での定期接種がスタート

### ■対象者

令和8年4月1日時点で65歳の方

- ・令和7年度から5年間の経過措置として、
- 令和8年4月1日時点で70、75、80、85、90、95、100歳の方
- ・令和7年度に限り、令和8年4月1日時点の年齢が101歳以上の方

### ■接種費用(自己負担額)

生ワクチン(1回接種)……………4,000円  
組換えワクチン(2回接種)…20,000円

詳しくは  
こちら▶

・ワクチンは2種類から選択してください。

・非課税世帯および生活保護の方は接種費用が免除されます

### ■接種場所

横浜市帯状疱疹ワクチン接種協力医療機関

第59代・60代副議長  
横浜市会議員  
**高橋 正治**

**地域子育て支援拠点の日曜開所を**

地域での子育て支援の中核を担う施設として各区に整備されている「地域子育て支援拠点」は、原則、火曜日から土曜日までの週5日間の開館です。磯子区の「ひそピコ」では、今年度から日曜日の開所が実施されていますが、父親も含めた利用促進を図るために、地域子育て支援拠点の日曜日の開所を進めていくべきと市長に訴えました。市長は「育児を積極的にする男性が増えている方、平日は拠点に来られない方も多く認識している。現在、すべての拠点で土曜日は開所していくべきと市長に要望したときの様子(令和4年10月14日)



## 令和7年 第2回定例会における論戦より

### 条例化による「防犯対策の強化」を

現在の「よこはま安全・安心プラン」は策定から約20年が経過し、最近の犯罪情勢や社会的な課題が反映されておらず、プランを改定すべきと考えます。また、計画の実効性を担保するためには、行政や市民、事業者が体とつなぐ業務を明確化した上で、条例の制定が必要と考え、新たな条例の制定への考え方について市長に質問しました。市長は「市が果たすべき役割を明確にするとともに、神奈川県警察と連携し、市民、地域、事業者が体となつて犯罪防止を推進することなどを基本とした新たな条例の制定を進めていく。『よこはま安全・安心プラン』の改定と合わせ、スピード感をもって取り組んでいく」と答弁しました。

### 議案関連質疑

るが、人材確保等の課題をクリアした上で、日曜日の開所を広げていくことで、更なる利用促進につなげていくと答弁しました。

### 旧上瀬谷通信施設公園(仮称)パークセンターへの木材利用

GREENEXPO2027の会場となる旧上瀬谷通信施設公園の基盤整備が、順調に進められていますが、公園内に立地する拠点施設のパークセンター2は、GREENEXPOの趣旨を踏まえると、木材利用をすることと、環境にも人も優しい建物になると考えており、どのように取り組んでいるのか確認しました。副市長は、「環境にやさしい循環型社会の実現につながるため木材利用は大変重要と考えており、パークセンター2では、柱や屋根など、建物全体で国産の木材を積極的に活用するとともに、市民の皆様により実感していただけるよう、建物の内部についても木材が直接見えるデザインとしている」と答弁しました。

### 「年収の壁の見直し」分かりやすく広報を

所得税と個人住民税について、いわゆる年収の壁の見直しに関連した改正が行われました。今回の改正項目である特定親族特別控除は、大学生年代を対象とし、これまでの扶養控除とは別に新たに創設されました。そこで、その目指す効果がしっかりと得られるよう、市民にしっかりと広報すべきと訴えました。市長は、「控除の具体的な仕組みや金額などについて、市民や事業者の皆様に理解していただくことが重要であり、特に控除の対象となる大学生年代に届くように、ウェブサイトやSNSで発信するなど、対象に応じた手段を活用して周知・広報を図っていくほか、事業者の方向けにも関連団体を通じて周知等を図っていく」と答弁しました。

横浜の子育てに必要なことがスマホで完結  
**横浜市子育て応援アプリ**



出産費用助成金や  
妊婦健診助成金の  
申請もPamatocoで!

詳しくは  
こちらから  
QRコード

**横浜・公明党発！救急電話相談「#7119」が  
神奈川県全県下で対応可能に**

★電話で相談  
急な病気やけがで、救急車を呼ぶか、  
医療機関を受診するか迷ったら…

**#7119**

または、045-232-7119 年中無休／24時間対応

### 市民 相談

横浜市会議員、防災士  
**高橋まさはる**

〒226-0019 横浜市緑区中山1-20-5

電話：929-5305 FAX：931-8798  
http://www.masaharu.info/

LINE公式  
アカウント▶



